



日本宝くじ協会助成事業概要のお知らせ

この度、平成29年度の一般財団法人 日本宝くじ協会の助成金を受けて、助成事業の概要は下記のとおり実施いたしました。

記

1 助成事業名

平成29年度健全育成資料（小・中学生用）「健全育成ハンドブック」の作成・頒布
助成事業

2 助成事業者名

公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会

3 配布先

47都道府県全国少年警察ボランティア会員、47都道府県小・中学生及び保護者、
全国の図書館、マスコミ、賛助会員、47都道府県小・中学校教職員、全国教育委
員会、当協会主催シンポジウム・研修会・セミナー等

4 配布数量

小学生用67,500部 中学生用67,500部 合計135,000部

5 助成事業の概要

- (1) 全国の少年警察ボランティアは、各活動地域の小・中学校や地域において、非行防止教室や健全育成講習等を行い、参加する小・中学生、保護者等に対し、子どもに係わる非行や犯罪、危険や被害等の実態とともに、それらを防止するため知っておきたい事柄について説明して訴えかけているが、その際に小冊子をテキストとして、配布しております。

その冊子が、「健全育成ハンドブック」であります。年齢層（小学生向け・中学生向け）に応じて、身近な題材を取り上げ、平易かつ明快に、説明されており、このため、小学生用67,500部・中学生用67,500部の合計135,000部を作成し、ボランティア活動従業者はもちろん、小中学校関係者等からも高く評価されていることから、小中学生の児童、生徒、保護者、小中学校教職員そして、全国の教育委員会、図書館、新聞社、教育委員会等に配布し全国で活用することとしました。

- (2) 本年度は、昨今の少年を取り巻く環境や少年の行動に則したものとするよう、作り上げたものを活用したものであります。

本資料は、小学生及び中学生向けに少年の非行を防止し、健やかな成長を願って、牧野カツコお茶の水女子大学名誉教授を責任者とする編集委員会を設け、教育、心理、社会学等の分野の学識経験者、小・中学校校長等教育現場責任者のほか、警察庁少年課長、科捜研少年研究室長、及び少年警察ボランティアなど編集委員12名の参画を得て検討を重ね、小学生用『安全と遊びのルール』～気をつけたいこととしてはいけないこと～、中学生用『あなたの明日のために』～もう一度考えよう！～の改訂版として外有識者が心を込めて作り上げたものであります。

- ① 特に覚せい剤・大麻・脱法ドラッグ等の薬物の危険性と弊害、ケータイ・スマホ等のインターネットの使い方及び危険性、酒・タバコの危険性のほか、人の心を深く傷つけるいじめを強調しています。
- ② 小学生向け、中学生向けとも、規範意識、ルールの遵守、自分の行為への責任自覚、相手への思いやり等を強調する記述となっています。
- ③ 随所に設けている保護者向けアドバイス欄についても、記述を改めたものがあります。

この資料の配布を通して、少年警察ボランティアの活動を学校の児童・生徒及び教職員や青少年育成関係者にも広報するとともに、ボランティア自身の認知度アップにもつなげています。

また、事業結果を全少協ホームページ及び機関紙「みちびき」に掲載し、社会に広く少年警察ボランティアの活動を理解してもらうとともに、地域・学校・家庭が一体となり子どもを見守り育てるためのネットワーク作りにつなげているものであります。

※ 機関紙「みちびき」

年4回（4月、7月、10月、1月）発行している。1回の発行部数は、概ね4万部であります。

- (3) 日々のニュースでも、少年に関わる問題がいろいろと報道されていますが、最近では、特に、川崎市の多摩川河川敷で中学生が集団リンチの末殺害された事案や、大阪府寝屋川市の行方不明の男女中学生が殺害されていた事案などの発生が、大変ショッキングで悲惨な事態として記憶に新しいところであります。

この2つの事案で見逃すことができないのは、いずれもスマートフォンの無料通話アプリ「ライン」が犯行に関わっているところから、47都道府県少年警察ボランティア会員に配布する「健全育成ハンドブック」の一部を全国の小中学生、保護者及び学校に配布部数を当協会の予算により増配し、昨年の51,190部の配布に対し、本年度は、小中学生用併せて合計135,000部を作成し、そのうち106,328部を配布し、より末端まで広く配布することができました。

- (4) 小冊子を活用した人たちからは

- ◇「社会のルールを守るための優れた小冊子であり、積極的に子供たちに閲覧させている」（図書館での閲覧者）
- ◇「生徒指導時におけるマニュアルとして活用している」（教育委員会）
- ◇「社会のルールを守るためのハンドブックとして優れたものであり、学校の教材にしている」（小中学校教師）
- ◇「児童生徒に対し素晴らしい冊子を、より末端まで広く配布することができた」（保護司）
- ◇「家庭における親子の対話の話題として活用することで親子との会話が多くなった」（保護者）
- ◇「地域座談会や小中学校で行う非行防止教室などの教材として活用している」（少年補導員）
- ◇「やって良いこと悪いことがすごく分かりやすくなった」（小学生）
- ◇「毎日の生活の中ではいけないことや守らなければならないルー

ルを知ることができた」(中学生)
などの好意的な意見が寄せられています。

また、情報公開資料として、誰でも閲覧できるよう当協会事務所カウンターに備え置かれ、特定の者に偏らず、不特定かつ多数の人々の目に触れるよう配慮しております。

6 事業内容についての問い合わせ先

団体名：^{コウエキシヤダンホウジンゼンコクシヨウネンテイサツ}公益社団法人全国少年警察ボランティア協会^{キョウカイ}

住所：〒102-0093

東京都千代田区平河町1丁目8番2号 山京半蔵門303号

代表者：^{リョウシキヤウ}理事長 ^{ヤマダ}山田 ^{シノブキチ}晋作

担当者：^{ジム}事務局長 ^{フジヤマ}藤山 ^{カズヤ}一哉

電話番号：03-3239-4970

F A X：03-3556-1133

E-mail：kazuya1818@kzh.biglobe.ne.jp

U R A：<http://zenshokyo.ecs.or.jp/>

小学生用

健全育成ハンドブック
小学生用

宝くじは、
みんなの暮らしに
役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、
学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、
みんなの暮らしに役立っています。

安全と遊びのルール

気をつけたいこと
してはいけないこと

発行／公益社団法人全国少年警察ボランティア協会
協力／警察庁生活安全局少年課
本誌は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

中学生用

種全育成ハンドブック
中学生用

あなたの明日のために
もう一度考えよう!

**宝くじは、
みんなの暮らしに
役立っています。**

宝くじは、図書館や動物園、
学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、
みんなの暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。
<http://toto-japan.or.jp/>

発行 / 公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会
協力 / 警察庁 生活安全局 少年課
本誌は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

